



# *Amazing Future Prospects* — Exploring Human Activity —

グローバル社会に生きる  
— 聞く, 読む, 書く力を鍛える —

伊與田 洋之

赤塚 麻里

土居 峻

Marikit G. Manalang

室 淳子



NAN'UN-DO

Amazing Future Prospects  
—Exploring Human Activity—

Copyright© 2024

by

伊與田 洋之／赤塚 麻里／土居 峻／Marikit G. Manalang／室 淳子

All Rights Reserved

No part of this book may be reproduced in any form without written permission  
from the authors and Nan'un-do Co., Ltd

## はしがき

コロナウイルスの蔓延やウクライナ情勢などで世界は劇的に変化し、私たちは激動の時代の中で生きることを余儀なくされています。それと同時に様々な情報が世界を駆け巡り、遠隔地にいる人たちとのやり取りが容易になっていることを実感しています。グローバル化が確実に進んでいます。このことは、英語を主体とするコミュニケーション能力の重要性がますます高まっていることを意味しています。

このテキストは「インプットからアウトプットへ」をコンセプトにし、2019年に出版したAmazing Visions of the Futureの続編として、内容をグレードアップさせた中級編の総合教材として開発しました。執筆者が知恵を出し合い、学生の目線で、興味を持ちやすいトピックや内容を選ぶことを基本方針としました。リスニングとリーディングはTOEICに準じた形式を取り入れ、試験対応を意識した内容にしています。ライティングでは、練習問題を拡充させ、リーディングで出てくる構文などを参考にして、表現力を向上させることを目標としています。

英語の学習者は自然な日常会話や英語のニュースなどを聞き取ったり、映画を字幕や吹き替えなしで楽しんだり、海外旅行で困らない英語力を身に付けたいと望んでいます。さらに一步進んで、プレゼンテーション能力の向上や留学してコミュニケーション能力を飛躍的に伸ばしたいと考えている学習者も数多くいます。このテキストは中級者向けの教材として、より正確な読解や豊かな表現力が養えるよう配慮しています。

本書の特色は、豊富で多彩なトピックを取り上げ、学習者の興味・関心を引き付ける工夫をしていることです。さらには、各ユニットを構成するリスニング、リーディング、ライティングのセクションを有機的に関連させ、1つのトピックをインプットからアウトプットへの流れの中で学習できるようにしています。リスニングセクションの最後のエクササイズはプレ・リーディング・アクティビティになっていて、リーディングへの橋渡しをしています。リーディングで内容を把握したあと、本文中の構文や言い回しを参考にして、ライティングできるようにしています。ライティング科目の教材としても活用できます。

異なる考え方や視点や持った執筆者が、それぞれのトピックを統一されたフォーマットで分かりやすい英文で解説しています。現代社会の問題点を提起しているトピックもあります。学習者に幅広い知識・知見・感性を与える機会を増やすことがねらいです。各セクションには、定着をはかるためにエクササイズを設けています。間違いを恐れずに果敢に挑戦してください。ただし、自分が間違えたところから学ぶ、という観点を忘れないでください。

英語学習を通して、教養を深めるとともに、外国人のものの考え方を理解し、自分の国の文化を発信できるようになることを願っています。

2023年4月

執筆者一同

## 本書の構成

### Listening

英語の音声の聞き取りを助けるヒントを簡潔に紹介しています。語アクセント、文アクセントなどの基本的なルールから、消えなくなる音、弱形と強形、つながる音、英語のリズムなど、英語の音声の特徴について解説しています。学習に入る前のウォーミングアップに役立ちます。

**Exercise 1** 何についての説明かを聞き取り、それを日本語で答える問題です。一語一語にこだわるのではなく、全体として、内容を捉える練習です。

**Exercise 2** 発話とそれに対する3つの応答を聞き、発話に対する最もふさわしい応答を1つ選ぶ問題です。TOEIC® L&R TestのPart II Question - Responseに対応した問題です。

**Exercise 3** Reading Passageのトピックに関連するOpening Conversationを聞き取り、会話の内容に関する質問に答える問題です。内容を聞き取ると同時に、Reading Passageへの意識付けができます。

### Reading

各ユニットのトピックに関連した題材を取り上げた330語前後の英文です。色々な話題を英語で考えながら、その視野を広げられるように工夫しています。

**Exercise 1** 多項選択式で本文の内容理解を確認する問題です。

**Exercise 2** 本文の内容について真偽を問う問題です。

#### トピック・コラム

Reading Passageで取り上げたトピックに関連して、興味を起こさせるような情報を日本語で説明しています。トピックについてさらに知識を広げ、考察を深めるのに役立ちます。

### Writing

**Exercise 1** 空所補充形式で、本文中に出てくる重要語句やフレーズを確認する問題です。

**Exercise 2** 語句を並べ替えて英文を完成させる問題です。最初の設問のみ日本語訳でヒントを付けています。

**Exercise 3** 本文で出てきた重要表現を参考にして、英文を書く問題です。

### 付録

音声学の観点から、強アクセントと弱アクセント、日本語と英語の違い、リズムなどを解説しています。英語らしい発音を意識し、特に、リスニング力やスピーキング力などの向上にも活用できます。また、Reading Passageを読むのに必要な語彙の一覧や文法項目を記載しています。

## Contents

はしがき	3
本書の構成	4
<b>Unit 1</b> College Education 大学の教養科目群	7
<b>Unit 2</b> 3D Ashura プロジェクションマッピングの阿修羅	11
<b>Unit 3</b> Korean and Chinese Dramas アジアドラマの魅力	15
<b>Unit 4</b> Rice Plant お米の恵み	19
<b>Unit 5</b> A Thousand Years of Love 千年の恋物語	23
<b>Unit 6</b> Coming to America アメリカからの手紙	27
<b>Unit 7</b> Aqua Blue スキューバダイビングに挑戦	31
<b>Unit 8</b> Roman Numerals ローマ数字	35
<b>Unit 9</b> Visiting Boston アフリカ系アメリカ人の歴史探訪	39
<b>Unit 10</b> Jazz ジャズの魅力	43
<b>Unit 11</b> Mercy Killing 安楽死	47
<b>Unit 12</b> Online Communication オンラインでコミュニケーション	51
<b>Unit 13</b> The Secret of the Rosetta Stone ヒエログリフ解読の鍵	55
<b>Unit 14</b> Neuvola フィンランドの子育てモデル	59
<b>Unit 15</b> COVID 19 コロナウイルス禍	63
付録	67
単語	71

**Listening**

## ← Warm Up →



## ◆ 語アクセント ◆

日本語は高低のアクセントで発音されるのに対して、英語は強弱のアクセントで発音されます。強弱の付け方によって違う単語になることもあるので、注意が必要です。また、複合語も1つの単語として強弱アクセントが付きます。

1. address  
住所

2. address  
演説する

3. greenhouse  
温室

4. green house  
緑の家

5. whiteboard  
白板

6. white board  
白い板

**Exercise 1** 音声を聞いて、どんな科目の説明かその名前を日本語で ( ) 内に書き入れましょう。

A ( ) B ( ) C ( )



**Exercise 2** 音声を聞いて、最も適切な応答の一つを選びましょう。

1. (A) (B) (C)    2. (A) (B) (C)    3. (A) (B) (C)    4. (A) (B) (C)



**Exercise 3** Opening Conversation を聞いて、下の質問に答えましょう。



1. 雅は何を提案したのか。

\_\_\_\_\_

2. 中世のヨーロッパで学生が本をなかなか使えなかったのはなぜか。

\_\_\_\_\_



▶ 英文を読んで質問に答えましょう。



Have you ever heard of Liberal Arts or General Education? Most universities require their students to take a set of such courses. The English class you are now taking might be one of them. But how did these courses come to be?

In America, where higher education does not have a long history, practical learning was the focus of education. Fields of study such as engineering, agriculture, business administration, and applied science were at the center of higher education. There was a need to provide basic knowledge serving as the standard for all educated people. To fulfill this need, general education curricula were developed to offer students such basic knowledge, as opposed to specialized knowledge acquired later in their chosen technical or professional curricula.

In Europe, higher education began to develop as early as the 11th century. Some of the oldest universities include those established in Bologna, Oxford, and Paris. The goal for European university students was to acquire a basic understanding of the natural world and society at large through Christian disciplines. As the means for pursuing and discussing the truth, students trained in the seven liberal arts: grammar, logic, rhetoric, arithmetic, geometry, astronomy, and music. These subjects can be traced back to ancient Greece, where they were considered essential for a free (or “liberal”) person to actively participate in civic life; hence the name “liberal arts.” After acquiring the arts, students could go on to study theology in order to pursue an understanding of how the world works.

When Japan modernized its education during the Meiji Restoration, a Germanized version of the European university was introduced to establish what is now the University of Tokyo. At the time, Japan prioritized practical skills and knowledge to the pursuit of truth and enlightenment. Thus, the organization of academic departments was centered more on American-like practical subjects. This mixture of ideas and traditions of both European liberal arts and American general education can still be observed within Japanese higher education institutions today.

(331 Words)



higher education 高等教育  
 practical learning 実学  
 Bologna ボローニャ  
 the seven liberal arts 自由学芸七科  
 the Meiji Restoration 明治維新

**Exercise 1** 本文を読んで下の質問に答えましょう。

- Which is NOT true about higher education in the United States?
  - It does not have a long history.
  - It had to provide standardized knowledge for educated people.
  - Engineering and agriculture were examples of practical subjects taught.
  - General education curricula offered students specialized knowledge.
- What was the goal for European universities?
  - To develop old universities in Bologna, Oxford, and Paris
  - To have students acquire a fundamental knowledge of the world
  - To train students in the seven liberal arts
  - To make Christian disciplines great again
- How is Japanese higher education unique?
  - There is a mixture of ideas and traditions within institutions.
  - Japan needed more enlightenment than skills.
  - European liberal arts were valued.
  - Modernized universities were not established.

**Exercise 2** 次の各文が本文の内容に合っていれば **T** を、合っていなければ **F** を選びましょう。

- T / F** “The seven liberal arts” means to pursue and discuss the truth.
- T / F** The subjects were called “liberal arts” because they were essential for “liberal” citizens.
- T / F** The first Japanese universities were established based on the German system.

中世ヨーロッパの高等教育と現代の学位

中世ヨーロッパの大学では、自由学芸七科が基礎学力として必須でした。その上位に哲学があり、七科を統合して理論的思考を身に付けるための学問でした。そして、最終段階として神学を研究し、世界の法則性を導こうとしました。実は、この考え方は現代の学位名に受け継がれ、学部卒業で与えられる Bachelor of Arts は「学芸を志す者」、修士修了 Master of Arts は「学芸を修めた者」、博士認定を経た Doctor of Philosophy は「哲学で水準に達した者」というのが元の意味です。

**Exercise 1** 日本語に合うように ( ) 内に適切な語を書き入れましょう。

- Have ( ) ( ) ( ) stopped speeding?  
(スピード違反で止められたことはありますか。)
- What percentage of the students ( ) ( ) ( ) college?  
(生徒の大学進学率はどのくらいですか。)
- English education is ( ) ( ) ( ) reading and writing.  
(英語教育は主に読み書きが中心です。)

**Exercise 2** ( ) 内の語を並べかえて英文を完成させましょう。

- How ( to / did / be / it / that / come ) you both left at the same time?  
(どうしてお二人は同時に出掛けることになったのですか。)
- The virus was discovered as ( as / year / November / early / last ).
- These meats ( for / are / safe / human / considered ) consumption.

**Exercise 3** 本文にある表現を用いて、日本語に合うように英文を完成させましょう。

- 学校は生徒に制服の着用を求めた。
- その伝統は14世紀にまで遡る。
- 家康は今の愛知県に生まれた。



Listening

Warm Up



◆ 文アクセント ◆

文アクセントには、強く発音される content words (内容語) と、弱く発音される function words (機能語) があります (付録①を参照)。特に、話者が文中で一番伝えたい情報は最も強く発音します。

Here comes a huge tsunami.  
She's working at the British Museum.

- ★ 最も強い部分
- 強い部分
- 弱い部分

**Exercise 1** 音声を聞いて、何のアイテムの説明かその名前を日本語で ( ) 内に書き入れましょう。

A ( ) B ( ) C ( )



**Exercise 2** 音声を聞いて、最も適切な応答の一つを選びましょう。

1. (A) (B) (C) 2. (A) (B) (C) 3. (A) (B) (C) 4. (A) (B) (C)



**Exercise 3** Opening Conversation を聞いて、下の質問に答えましょう。

- Jane と将都は今週末、横浜のどこに行くのか。
- そこで二人は何のショーを見るつもりなのか。

